

令和2年度授業改善推進プラン【3年生】

教科	児童の課題	具体的な改善のための方策
国語	<p>△漢字の学習や練習によく取り組むが、普段の作文やノートに習った字を活かすことが難しい。</p> <p>△自分が書きたいことを文章で正確に表現したり、文章から物事を理解したりすることが苦手な児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指書きを徹底し、小テストを実施し、習熟を確実にしていく。</li> <li>辞書の活用や児童同士の見合いを指導に取り入れる。</li> <li>文章を書いた後は必ず読み返して、間違いを直す指導に取り組む。</li> </ul>
社会	<p>△資料から情報を正しく取り出したり、取り出した情報を比較・関連付けたりすることが難しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を読み取る時には、どのようなことに気を付けて見れば良いのかわかるように、ICT等を活用して視点を与える。</li> <li>比較・関連付けをする時には、「どこが似ている」「どこは違う」など相違点をはっきりさせる。</li> </ul>
算数	<p>△問題把握をする場面で、問題の意味を理解することに時間がかかる児童がいる。</p> <p>△四則計算や図形単元など、得意としている児童と苦手としている児童の差が大きい。特に、長さや面積に関しては身近なものの単位の感覚がつかめない児童がいる。</p> <p>△計算の仕方は分かるが、文章から計算の方法や立式の方法、図に表して説明することが難しい児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数学習の基礎となる生活体験、算数体験を意図的に取り入れる。</li> <li>既習事項を使って問題を解決する習慣が付くように指導する。</li> <li>基礎、基本の定着を図るために、家庭学習を活用して算数の計算問題に取り組みさせる。</li> <li>文章問題の重要な表現に線をひく、マークをつける習慣をつくる。</li> </ul>
理科	<p>△観察カード等を丁寧に正確に書くことができる児童が少ない。</p> <p>△観察の観点がつかめない児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的意識や課題意識をもって、意図的に自然の事物・事象に働き掛ける活動を充実させる。</li> <li>ICT機器を活用し、様々な角度から観察する経験を培う。</li> </ul>
音楽	<p>△技能面で、リコーダーの運指やタンギングの定着をはかるのに時間がかかる児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な奏法や音符のきまりを身に付け、技能の習得のために継続的な取り組みで定着を図るようにする。</li> </ul>
図工	<p>△自ら考え、思いに合わせて材料を工夫することに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形あそびの題材で、自分から材料から関わり材料に慣れる機会を増やす。</li> <li>材料の工夫の仕方を試す活動から、工夫を友達と共有して材料への理解を深めさせるステップを設けることで、自分で考え工夫できるようにする。</li> </ul>
体育	<p>△運動の意味やルールを理解しないまま、取り組む児童が多い。</p> <p>△互いにアドバイスをする経験が少なく、助言をすることが難しい児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動を始める前に学習の意味やルールを視覚で分かるような資料やICT機器、映像を活用する。</li> <li>児童が助言できるようポイントや今までの学習で出てきたコツをまとめた資料をカードに掲載し、助言に役立てられるようにする。</li> <li>児童のコツが書き込めるイラストや図をカードに使い、価値づけられるようにする。</li> </ul>